

## NISA 受渡日が2026年となる取引についての注意事項

### ★NISAは受渡日基準です

2025 年内に申し込み、約定となった取引であったとしても、受渡日が 2026 年となる場合は、2026 年の取引として取り扱われます。

※受渡日・・・売買代金の決済日のことをいいます。約定日は売買が成立した日をいいます。

#### 【事例】

取引内容：投資信託の購入（NISAを利用）

申 込 日：2025年12月29日

約 定 日：2025年12月30日

受 渡 日：2026年1月5日

⇒ 上記事例の場合、受渡日は 2026 年であるため、2026 年の非課税枠（成長投資枠）240 万円を利用することとなります。

### ★ご注意ください取引

以下の投資信託売買取引においては、お客さまのご意向と異なる取引結果になる可能性があるため、ご注意ください。

取引の詳細につきましては、「取引詳細」をご参照ください。

※取引詳細の【事例】において、取引①、②、③いずれの場合も前提条件は以下のとおりです。

〔前提条件〕

NISA 口座で投資信託を 200 万円保有しており、その内 100 万円分が 2025 年 12 月末をもって非課税期間が終了し、課税口座へ移管されます（投資信託は全て同一のファンドです）。

取引番号	取引内容	約定日	受渡日
取引①	非課税期間が終了するファンド（2021 年分）を解約	2025 年内	2026 年 1 月以降
取引②	非課税期間が終了するファンド（2021 年分）を解約	2026 年 1 月以降	
取引③	課税口座で保有している「非課税期間が終了する ファンド（2021 年分）」と同一のファンドを全て解約		